

日本聖公会

大阪教区報



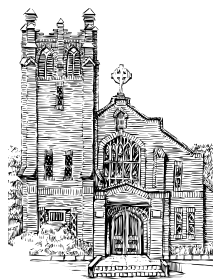
芦屋聖マルコ教会



尼崎聖ステパノ教会



石橋聖トマス教会



主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局

〒545-0053

大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179

FAX 06-6621-3097

発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第503号 2022年10月20日発行 +++++

不正の富で友をつくる！

ルカ16…1-13から

司祭 原 田 光 雄

管理人は金持ちの主人の財産を無駄遣いしている、と告げ口され、解雇されることになりました。そこで、いろいろ考えた末、失業しても生活していけるよう、自分を支えてくれる友だちをつくることにしました。そのため、急いで、自分の主人から借財のある人たちを呼び寄せ、その借りを大幅に削減するよう、借用証を書き換えさせたのです。

ことの次第を知った「主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方をほめた」とのこと。そして、主イエスは言われました、「不正にまみれた富で友達を作りなさい」。この管理人の所行は常識的には言うまでもなく不正行為です。借財がちゃんと返済されなければ、商取引はできず、経済の仕組みも成り立ちません。それでは、今すでにある経済の仕組みに不正はないのでしょうか。

2001年8月末から9月



にかけ、国連が主催して「人種主義、人種差別、外国人排斥および関連する不寛容に反対する世界会議」が、南アフリカのダーバンで開催されました。人種主義等により人類

が惹き起してきた重大な問題に取り組み、それを乗り越えることをめざす「宣言」と「行動計画」が採択されました。その中で奴隷制度や植民地支配が取り上げられています。今日、日本を含め先進国と言われる諸国の多くは軍事力をもって、特にアフリカ、アジア、中南米に暮らす人々の土

地を植民地として支配し、そこから人を労働力等として連行したり、食物や鉱物を含む資源を奪ったりしました。その結果、自国は経済的に豊かになり、科学や技術を発展させ、軍事力をいっそう増強し、国力を蓄えて今日に至っています。

今日の世界の経済の仕組みは、かつての「奴隷制度や植民地支配」という大きな不正の結果でもあり、両者は不可分に結びついていて、明らかなことは明らかです。1990年代にアフリカ諸国で上がった声に呼応して英国から世界中に広まった、重債務最貧国の、先進諸国や国際機関に対する債務を帳消しにしよう

という運動「ジュビリー2500」(レビ記25章参照)は、今日の経済の仕組みからすれば、先進諸国が重債務諸国の借金を帳消しにしてあげよう、ということになるのでしょうか。しかし、今日の先進諸国はこれまでに重債務最貧国(かつての植民地など)から人を奪い、資源

を奪ってきました。この世界会議の視座によれば、重債務最貧諸国に對しむる先進諸国の側が莫大な債務を負っているのであり、それをほとんど放置し続けているのです。今日、先進国と呼ばれる国の人たちは、奴隷制度や植民地支配により被害を被った人たちに對し、その債務をどれほど返済しているのでしょうか。

「不正にまみれた富」とは、この管理人が個人的に借用証を改ざんしたことによって生じた特別なものではないようです。奴隷制度や植民地支配に代表される人間相互の歪んだ関係における経済活動により蓄えられた富は自ずと、不正なものとならざるを得ないのです。換言すれば、実態として富はすべてこの現実の世界において、構造的な不正を帯びている。だから、人は、富に支配されてはならない。神に従って、逆に富を支配し、活用しなければならぬし、活用していいのです。「あなたがたは、神と富とに仕えることはできない」(ルカ16:13、マタイ6:24)。

(聖ルシア教会牧師、
聖ルカ教会管理牧師)

新連載『杖ひとつ』 石橋聖トマス教会からの一本 「終わりから始まりへ」神様に祈り従う

カテリーナ 阿部 仁美

石橋聖トマス教会と庄内キリスト教会は、2022年4月に一つになりました。いよいよ新教会の礼拝が始まったのは4月3日(日)でした。始まりです。目指すのは、後退ではなく進んでいく新しい教会。

約10年前、豊中3教会の交わりは、同じ豊中市に建てられた教会としてお互いを知りましよう、ということから始まりました。いきなり合併を考えたわけではありませんでした。けれども、それぞれの教会がお互いを知れば知るほど、高齢化、若者が育っていない等、「出来なくなっていること」を数えるような状態へ。

それまで持っていた「希望」や「描いた展望」は、そのほとんどが実現できず、現実には厳しいものでした。何もしなかったわけではありません。

10年が経ち、次の10年を考えました。そして、合併を視野に入れた「3教会」という展開が合同教会委員会にて提案されたのです。なぜ合併？

と、反対の人も多数でした。

合併したらどうなるか、合併しなかったらどうなるか、神様の導きはどこのか？不安な気持ちを抱えて賛美し、祈りました。今思えば、みんなで教会のことを考える機会となっていたのでしょうか。どうしたら礼拝に行けるかなど、不安や問題は一つ一つクリアして、前を向こう。吸収合併ではなく、対等合併でもなく、新教会の設立へ、と。2022年3月の庄内キリスト教会最後の礼拝は、賛美にあふれて締めくくることができました。

そして今、新しい教会として、みんな努力し、主日礼拝に來ています。これがすべて。コロナ禍で制限もあります。が、懇談会を持ち、お互いを知る交わり、これからの教会を考える話し合い、みんなの顔写真と名前のコーナー作りなどに取り組んでいます。

嬉しかったことは、8月21日に新教会で初めての洗礼と

初陪餐の恵みが与えられたこととです(11歳の我が孫です)。これからの教会をみんなと一緒に描き、神様に祈り、導かれた方へ従い、実現でき

祝・大阪聖三一教会新礼拝堂完成おめでとう！

礼拝堂聖別式を終えて

アブラハム 大西 温

2022年9月19日(月・休)に大阪聖三一教会の礼拝堂聖別式および集会室・牧師館祝別式が行われました。数

日前から大型台風が聖別式の日に接近することが天気予報で判明していたため、前日のリハーサル後に管理牧師の磯主教立ち合いのもと臨時教会委員会を開き、直近の台風情報を鑑みながら開催の可否について話し合いがもたれました。本来ならば、三一教会および地域小規模児童養護施設『つむぎ』の建築を支えてく

ださった多くの方の祝福の中で行われるべきであり、我々三一教会の教役者・教会員もそれを強く望みながらも、代替日の設定の困難さ、聖別式が終わるまで準備が整った聖堂で礼拝をまもれない信徒の気持ちなど様々な視点から、苦渋の選択でもととの予定

ていくことを信じます。生まれての教会のこれからの歩みをお祈りください。はじまりはじまり。

(石橋聖トマス教会信徒)

の日時で行うことが決定されました。また、交通機関がい

つストップするかわからない状況であり、聖別式の参加者がその行き帰りで事故や怪我などに遭わないことを第一に考え、来賓の方々にはあえて「無理のない範囲でご参加ください」ではなく「参加をお控えください」とさせていた

できました。様々な事情で直接参加できなかった方々にも、古澤秀利司祭のご厚意で、聖別式の様子をYouTubeでライブ配信していただき、オンラインという形で礼拝に聖別式に参加していただきました。後日、三一教会の信徒や他教会の方々からも「オンラインで参加することができてよかった」という声を何件もいただきました。現在、11月3日(木・休)に感謝礼拝という形で、今回参

加いただけなかった方々をお招きしたいと考えております。新しい聖堂は、以前よりごんまりしていますが、バリアフリーで木の温かみがある作りになっています。壁や柱の木材の塗装は信徒自ら行いました。ぜひ、多くの方にこの新しい聖堂に訪れていただき、共に祈る機会を持ちたいと思います。

この建築にあたって、融資をしてくださった日本聖公会管区、大阪教区、芦屋聖マルコ教会、大阪聖パウロ教会、川口基督教会、その他有志の皆様、そして、献金という形で全国の教会・諸施設、有志の方々から多くのご支援をいただき本当に感謝しております。建物は無事に完成しましたが、今後も融資の返済のために皆様に献金をお願いをしますが、どうか温かいご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、建築期間、私たち三一教会のメンバーを常に温かく迎えてくださった大阪聖アンデレ教会の皆様

様に深く感謝を申し上げます。

(大阪聖三一教会信徒)



羊だより

喜びの日を新しい出発の日に

去る9月19日(月・休)大

阪聖三一教会礼拝堂聖別式・集会室・牧師館祝別式が執り行われました。今まで経験したことがない巨大台風14号が接近中ということで、延期したほうがいいのではないか、前日には、私も齊藤壹司祭も教会員の皆さんも大変頭を悩ませました。結論としては、各教会代表の方や教会員でも遠方の方は、出席を控えて頂き、集まれる者で実行しようということになりました。

他教会の皆様はじめ教役者の方には、11月3日(木・休)午後2時から竣工・聖別感謝礼拝(仮称)にお集まりいただくことに致しました。後日ご案内を致します。

さて、19日当日、皆の祈りが聞かれたのでしよう、神さまの導きと恵みを受けて、聖別式・祝別式を行うことができました。神さまと皆様のお祈りに感謝します。私は、この日を前に、改めて大阪聖三一教会100年誌を読み直しました。

そこで、55年前(現在聖三一教会は147年目を迎えています)、前の礼拝堂の聖別式当日週報の山根貞夫司祭の文章が大変心に残りました。

「1967年昭和42年5月21日三位一体主日 聖別式当日週報より」

「遂に待望の時が来た。30年近く願い求めてきた礼拝堂が、今日、教会創立記念主日に聖別奉獻される。今日の日は、その昔、川口居留地に建てられた礼拝堂が聖別奉獻され、大阪聖三一教会と名付けられてから数えて90周年の主日である。今日の喜びは私たちの生涯に残るものとなるだろう。だが、これで目的を果たせたのではない。私たちの目ざすところは人々の魂を主に導く事である。み言葉を宣べ伝えることである。神は私たちを導き、また大きな期待をかけて居られる。今日の喜びを神に感謝する方法はただ一つ。信徒一丸となって、み言葉にこたえて宣教のわざに励むことである。いざ我ら、

いでゆかん。」

私は新礼拝堂聖別式を前に、この若き日の山根司祭の祈りと思い、「アーメン」と胸の中で唱えました。教会建築は大事業ですが、聖別式で目的を果たせたわけではなく、新しい出発の日なのです。私たちの目的は、新礼拝堂において、豊かな礼拝を守り、私たちの魂が神さまに向かつて養われ、宣教・伝道の業に

新連載

解説・宣教協働区・伝道教区とは？

①

日本聖公会は2020年10月開催の第65(定期)総会において、教区制改革に関する画期的な法規改正議案を可決し、複数教区からなる「宣教協働区」の設置(具体的には3区域)と、将来の教区再編成を目指した「伝道教区」移行への道が開かれました。日本聖公会という小さな管区の中に11もの教区があることにについては、長年、議論が続いていましたが、ようやく宣教体制の強化と共に、是正の可能性が出てきました。

この法規改正を受けて、北関東教区では広田勝一主教の

励むことです。大阪聖三一教会が大阪教区、特に大阪南地区の中核となる教会として成長していくように、今後とも祈りと支援をどうぞよろしく願います。また宣教の大切な働きを担う、博愛社小規模児童養護施設「つむぎ」のこどもたちとスタッフのためにお祈りください。

主に感謝。主教アンデレ

定年退職に先立つ2020年11月の教区会で、主教選挙は行わず伝道教区移行を決議されました。5年後の東京教区との合併に向けて、現在急ピッチで作業が進められています。一方、北海道教区は、植松誠主教の後任として笹森田鶴主教(東京教区出身)を選出。来年4月に吉田雅人主教の定年退職を迎える東北教区も、このほど主教選挙実施を決定されました。

大阪教区は、京都教区との合併議案が昨年11月の大阪教区・教区会で否決され、2016年に締結された「特別協

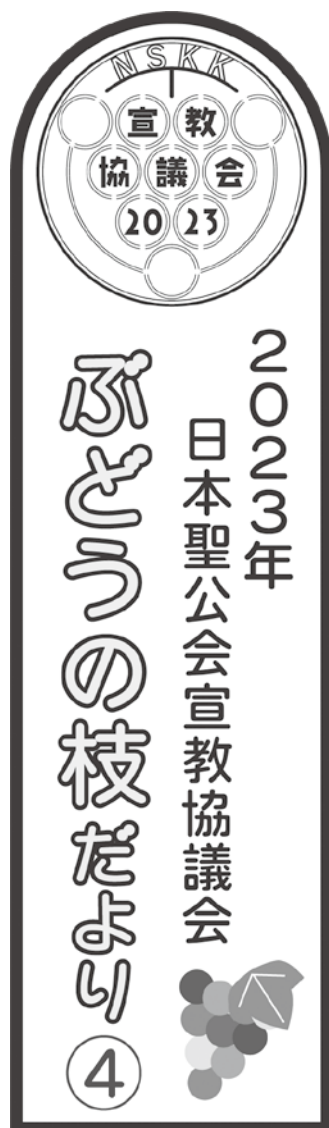
働教区関係」は解消となります。しかし、2023年に教区成立100周年を迎え、また2025年3月には磯崎久主教が定年退職となることから、今後の方向性を考えることは差し迫った課題です。日本聖公会が大きく変えられようとしている今、私たちも新しい制度についてしっかりと理解し、対応を考えていく必要があります。教区制改革の経緯、また法規に明示された「宣教協働区」と「伝道教区」について、教区報紙面でシリーズにして情報共有したいと思っています。十分に意見交換し、より豊かな将来像を一緒に祈り求めていきましょう。

(常置委員会)

伝道教区制についての説明会と京都教区臨時教区会報告開催のお知らせ

常置委員会

- 第1回 10月30日(日) 15時～16時30分
場所：大阪城南キリスト教会
- 第2回 11月23日(水・休) 教区会後
場所：川口基督教会



日本聖公会宣教協議会実行委員会です。今回は、宣教協議会のテーマと主題聖句についてまた、「ぶどうの枝協議会」(8月22日(月)・23日(火))について報告させて頂きます。

・2023年日本聖公会宣教協議会テーマ、主題聖句について

「テーマ」「いのち、尊厳限らないもの」となりびとになるために」

「主題聖句」ヨハネによる福音書15章5節

「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れ



インマヌエル新生教会にて

ては、あなたがたは何もできないからである。」(聖書協会共同訳)

テーマは、2012年の宣教協議会「いのち、尊厳限り

ないもの」を引き継いでいます。また、本協議会で大切にしたいこととして「となりびと」というキーワードをサブテーマとしました。これは、イエス様が「サマリヤ人のたとえ」で、「あなたの都合ではなく、あなたが、出会わされた人のとなりびと」になることを求められました。「あなたが誰かの『となりびと』になること」、それは、「相手の人が、あなたの『となりびと』になること」でもあります。

本協議会では、「あなたは誰のとなりびとになりま

かけを深めていきたいと思

主題聖句に込めた思いは、「まことのぶどうの木」であるイエス様とつながり、そこから伸びていく、様々なぶどうの枝の集まりが、宣教協議会のイメージです。そして、協議会に関わる一人ひとりが、「ぶどうの木」であるイエス様を通じて、「となりびと」になっていくことを願っています。

・「ぶどうの枝協議会」(拡大実行委員会)について

8月22日(月)・23日(火) インマヌエル新生教会(東京教区)を会場に、武藤謙一(座主教、各教区の宣教担当、管区の各諸委員の代表、矢萩新一(総主事、卓志雄(宣教主事、実行委員)によって開催されました。

プログラムは、22日(月)開会礼拝(聖餐式)を捧げ、議主教(実行委員長)が説教をされました。礼拝に引き続き「ランバス会議報告」(西原廉太(主教)と実行委員によ

る「宣教協議会実行委員会のこれまでの歩み」の発題から始まりました。

その後、グループに分かれて分かち合いを行いました。午後は、「原発問題について」原発問題プロジェクト長の長谷川清純(司祭)より発題、そして会場をお借りしたインマヌエル新生教会の誕生に関わるそれぞれの思いを牧師の卓司祭の司会によって3人の信徒の方からお話を伺うことが出来ました。

その後、グループの分かち合い、全体の分かち合いを続け、来年の宣教協議会のプログラムの内容について協議いたしました。短い日程ではありましたが、たくさんの具体的なアイデアが出され、協議会に向けてたくさん「ぶどうの実」を頂き有意義な時でした。



2022年 信徒奉事者研修会 「原点に返っての心得をあらたに」

リベカ 吉川 礼子

8月28日の日曜日の午後、大阪聖アンデレ教会で、信徒奉事者研修会が行われました。

信徒奉事者と教会の方々合わせて38人の参加者が聖堂に集まり、内田望司祭様から奉事者としての大切なことを教えて頂きました。

身なりや所作は、神様への崇敬と賛美の気持ちを目に見える形でお献げする行為である。聖公会が大切に受け継がれ伝統的に守られている所作を知ることは大切である。日々の祈りと聖書を読む大切さ。信徒奉事者として、神様を賛美し礼拝する一端を担う。当番ではなく、心から奉仕すること。形式だけになっ

てはいけないこと。
私自身のご奉仕の時を振り返りますと、日課の聖書は、事前にきちんと読み込んでいる時とそうでない時では大きく違います。後者の時は、自信の無さが、字を追っているだけのように顕著に現れてしま

います。読んでいる途中も間違えたり詰まったりしてしまいます。そんな時は、神様と会衆の皆様に申し訳ない気持ちを抱えたままで礼拝を続けることになってしま

（西宮聖ペテロ教会信徒）

編集後記

新しい教区報も11月号を迎えました。1年が過ぎゆくのはあつという間で、記念すべき1年で大阪教区報がどれだけの宣教的前進ができたのか些か反省がありますが、今月号は喜ばしいことに二つの連載を開始する事となりました。

一つは先月号より告知しておりました杖一つの連載開始であります。記念すべき第一

回目、最初の杖は、皆さんの記憶にも新しい合併した石橋聖トマス教会からいただきました。私たちの宣教の旅路を支える素敵な杖は、これから

制度なのか、メリット・デメリットは何があるのか、信徒生活はどのように変化するのか、教役者はどうすれば良いのかなど、疑問が多々あるのではないかと思います。対面での説明会もありますが、何

なりませんが、今月のはじまりの杖は実に私たちの歩みを確かたるものにしてくれそうであり

ます。また二つ目の連載は伝道教区制度の解説が連載として開始されました。ここ数年でよく耳にするようになった制度

広報委員長 金山

宗教法人 日本聖公会 大阪教区

1-8 MATSUZAKI-CHO
IENO-KU, OSAKA
5-0053, JAPAN
T. (06) 6621-2179
X. (06) 6621-3097

The Diocese of Osaka
NIPPON SEI KO KAI
(THE ANGLICAN-EPISCOPAL CHURCH IN JAPAN)

〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
2丁目1-8
電話 (06) 6621-2179
Fax (06) 6621-3097

公 示

救主降生 2022 年 10 月 1 日

日本聖公会大阪教区
教区会議長 主教 アンデレ 磯 晴久

日本聖公会大阪教区第129（定期）教区会を、下記のように招集します。

記

- ◆日 時 2022 年 11 月 23 日（水／休）
午前9時（開会聖餐式）から午後5時
- ◆議 場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂（川口基督教会）
大阪市西区川口1丁目3番8号

なお、上記教区会の書記を下記のように指名します。

書記 司祭 ヤコブ 松 平 功
書記 司祭 ジョイ 千 松 清 美
書記 執事 ウィリアム ヒューム ユーワン

以上

大阪教区関係教役者
11月逝去者記念聖餐式

11月9日(水) 10:30~

- 1日 司祭 ジェームズ・ウィリアムス (1920英)
- 3日 司祭 パウロ ^{やまもと}山本 ^{はやた}早太 (1988)
- 4日 司祭 ヨハネ ^{はりもと}張本 ^{さかえ ちゃんじゅんさん}栄 (張準相1966韓)
- 宣教師 コンスタンス・メアリー・リチャードソン (1968英)
- 5日 司祭 パウロ ^{ごとう}後藤 ^{みつとし}光敏 (1971)
- 9日 司祭 ヨハネ ^{ありちか}有近 ^{やすお}康男 (1991)
- 11日 司祭 ヨハネ ^{ばん}伴 ^{きみやす}君保 (1956)
- 12日 宣教師 レイチェル・ドーラ・ハワード (1947英)
- 19日 司祭 ヨハネ ^{そばがき}側垣 ^{まさみ}正巳 (1997)
- 20日 司祭 ホレイス・ジョージ・ワレン (1950英)
- 21日 主教 ホレイス・H・プライス (1941英)
- 22日 司祭 ベルナルド ^{おあな}小穴 ^{ふじお}藤雄 (1971)
- 23日 司祭 ^{きたがわ}北川 ^{ちよきち}千代吉 (1939)
- 30日 宣教師 アミー・キャロライン・ボサンケット (1950英)
- ?日 宣教師 アンナ・マリア・タブソン (1940英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

堅 信	大阪城南キリスト教会
	メアリー 辻村 麻琴 (9月18日)
逝 去 者	川口基督教会
	ヨシユア 有田 昌之 (9月11日・75歳)
芦屋聖マルコ教会	モニカ 谷本 郁子 (8月31日・95歳)

- II・協議事項及び主教諮問
- * 10月10日(月) 開催の教区礼拝の内容、参加者、費用等について協議した。当日献金の奉献先は生野センタースとする。
- * 教区成立百周年関連事業のため、来年の2回の主日の信施を献げることとする。教区会での議案とする。
- * 伝道教区制についての説明会を信徒代議員向けに実施する。第1回10月30日(日)城南キリスト教会、第2回11月23日(水)教区会後。
- * 教区会へ上程する議案について協議した。京都教区との特別宣教協働関係の解消とOK委員会解散議案が京都教区と共に上程される。
- * 教区会開会礼拝献金の奉献先はパキスタンの水害被害のためと大阪聖三一教会建築のためとする。

(9月10日・94歳)
ヨハネ 佐治 孝典
(9月9日・87歳)
ヨハネ 坂口 望
大阪聖アンデレ教会
(9月10日・80歳)
ダビデ 松田 英彦
魂の平安をお祈りします

主教巡回予定(11月)

- 6日 尼崎聖ステパノ教会
13日 芦屋聖マルコ教会 (堅信式)
20日 聖贖主教会
27日 大阪聖パウロ教会

お詫びと訂正

- 2頁2段目
(誤) 米加田周子
(正) 米加田周子
○3頁2段目
(誤) 2人目
(正) 3人目
(誤) 女性司祭
(正) 女性の司祭

お詫びして訂正致します。

【常】
【置】
【委】
【員】
【会】
【報】
【告】
9/5
第13回
臨時

I・協議事項及び主教諮問

* 教区の今後についてのアンケート結果の集計分析について確認した。

* 伝道教区についての説明実施に向けて協議した。まず教役者が理解することが必要で、その後信徒への説明を実施する。

* 来年度の教区体制、人事の課題について主教から提示があった。次回以降継続検討とする。

* 10月の教区礼拝・生野センタース30周年感謝礼拝について

て協議した。
大韓聖公会から多くの来会があり、受入れ、接待について協議した。

* 故安倍元首相の国葬について協議した。教区としては管

区の声明を支持し、関連施設、学校等へ用意の強制が無いよう注意喚起を行う。

【常】
【置】
【委】
【員】
【会】
【報】
【告】
9/22
第14回
定期

I・主教報告及び諸報告

* 10/4(火)~6(木)主教会、仙台。

* 9/19(月) 大阪聖三一教会礼拝堂聖別式を行った。

感謝礼拝を11月3日(木)に予定。

【宣教局】

* 9月9日(金)教役者の語り場を開催。継続する。

【財政局】

* 大阪聖三一教会の建築費用の支払い終了。返済計画を確定し教区への追加融資額を確定させる。

* 会計委員懇談会を9月23日(金)大阪聖アンデレ教会で開催する。

【婦人会】

* 秋の修養会を10月18日(火)尼崎聖ステパノ教会で開催。講師は松平司祭。